
失ってから

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

失ってから

【Nコード】

N0819R

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

失ってから、初めて気付く事もある。そんな男のお話。

(前書き)

嫌いだった。

父が使っていたひげ剃りを、そつと顎へ当ててみた。

けれども、もう錆び付いたその刃は、何も切ることは出来なかった。

父がよく言っていた言葉を、私が今ちよつと言ってみた。

しかし、威厳も気持ちも何も分からないままだった。

父が大事に育てた植木達を、私はまだ大事に育てている。

だけでもう、草木に話し掛ける父の姿はどこにもない。

生前は口うるさく、鬱陶しい父だった。

しかし、失って初めて気付く事もある。

父は私の事を愛していた。

父が他界して、初めて気付いた。

初めて、父の気持ちを理解した。

けれど、もう、父は、いない。

『6月27日 仕事から帰ってくると、夜中だというのに、まだ2歳になったばかりの隆弘が「おかえり」と言ってくれた。嬉しい。仕事の疲れなど忘れてしまいそうだ』

『12月24日 隆弘がなかなか寝ない。サンタクロースをまだ信じているのか?』

『6月13日 隆弘が交通事故に遭った。今日は課長に理由を話して早退させてもらった』

『1月15日 今日は隆弘の成人式だ。俺も一緒に行って、胴上げの一つでもやってやりたいものだ』

『9月3日 隆弘が結婚したいと彼女を連れてきた。「まだ認める訳にはいかない」なんて言うてしまったが、隆弘も男になったのだなあと思うと、涙が自然に溢れてくる。俺も年をとったな』

『10月30日 病院で癌を宣告された。しかし、隆弘と祐美子さんの結婚式も見れたので、受け入れる事にした。心残りは孫に「おじいちゃん」と呼んで欲しかった』

『3月16日 初孫の実美が産まれた。病院で抱かせてもらった。隆弘にも似て可愛い。きつと大きくなったら美人になるぞ』

『5月12日 隆弘と祐美子さんと実美が見舞いに来た。朦朧とする意識の中で実美が「じいじ」と言った気がした。枯れていた筈の涙が止まらなかった』

『5月15日 隆弘。祐美子さん。そして実美。私は幸せだった。お前という息子に出逢えて。綺麗なお嫁さんに出逢えて。可愛らしい孫に出逢えて。私は幸せだった。これまで、いろいろとうるさく言ったかもしれない。すまなかった。けれども、私は幸せ者だった。ありがとう。私の可愛い息子よ』

そんな手記を見つけたのは、父の荷物を整理していた時……だった……。

(後書き)

人は言葉で気持ちを伝えます。しかし、言葉裏腹という事もありま
す。人の心の真相は、本人だけが知っているのです。いつも、本当
の事を言っている訳ではないでしょう。でも、実は……って事も…
…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0819r/>

失ってから

2011年10月8日01時22分発行